

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330432108	図画工作研究B Research of Arts and Crafts B	古田 年寿			1	選択	3後期

科目の概要

DP2に記載される、小学校教諭として社会で自立して生きていくため、教科教育指導に関するスキル・リテラシー・教養等における一般的知識や技能の応用を学修する。また、DP3記載に基づく図画工作科指導に必要な専門的知識・技能を習得し、視覚芸術全般について幅広く学修することで、DP5に記載される、地域及び・国際社会に貢献する社会人としての素養を身につけることを目指す。
そのためこの科目では、図画工作科教育法で得た知識を基に現代の子どもたちに必要な資質・能力を育むため、教科の特性を活かし、幅広く視覚芸術作品全般にその教材を求めて探求学修を行う。授業実践に活かせる作品制作とその考察をもとに、現代社会の課題を踏まえた学校教育における地域貢献、社会貢献ができる小学校教員を目指す。

学修内容	到達目標
① 子どもを取り巻く諸問題と造形活動について、美術・芸術・アート作品の現代の動向から理解する。 ② 過去の西洋、東洋、日本の美術に触れ、先人たちの表現への挑戦について理解する。 ③ 表現者としての身体障害者を理解する。 ④ オブジェ研究やインスタレーション研究を通してアートとしての空間演出方法を学修する。	① 子どもを取り巻く諸問題と造形活動について、美術・芸術・アート作品の現代の動向から理解できる。 ② 過去の西洋、東洋、日本の美術に触れ、先人たちの表現への挑戦について理解できる。 ③ 表現者としての身体障害者を理解できる。 ④ オブジェ研究やインスタレーション研究を通してアートとしての空間演出ができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	様々な演習や作品制作を通して、学校現場での自身の指導に繋がるレポート等を作成することができる。
	働きかけ力	学修内容に興味関心を持って取り組むことができる。
	実行力	授業内容のねらいを理解し、積極的に演習や制作に取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	主観にとらわれず事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	個人およびグループでの制作活動の見通しを持って最後まで粘り強く取り組むことができる。
	創造力	既存の様式や形態等に捉われず、現代の子どもに必要な資質・能力について思いを巡らし、自分なりの価値観を持ち試作品等を作成することができる。
チームで働く力	発信力	グループワークにおいて自身の意思をはっきり伝えることができる。
	傾聴力	教員や他者のアドバイスに謙虚に耳を傾けることができる。
	柔軟性	制作等で協働的なアクティブラーニングを行う際、チームでの話し合い等に積極的に参加し、チーム全体に貢献できる。
	状況把握力	共同制作等での場の雰囲気等をくみ取り、適切な発言や行動をし、また目標に向かって協力することができる。
	規律性	無断欠席、遅刻、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	グループにおける課題等に対して全体で共有して解決することで、ストレスコントロール力を身につけることができる。

テキスト及び参考文献

適宜プリントを配布する。

他科目との関連、資格との関連

他教科との関連：本科目は、「図画工作研究A」及び「図画工作教育法」を基盤とする。

学修上の助言	受講生とのルール
この授業は演習や作品制作を通して「様々な表現を体験すること」を旨とし、その体験を学校現場の指導にどう繋げるかを「考える」ための授業です。美術教育の本質を学び、自分自身の手を動かして、自分の思いを表現する大切さを体感してほしいと思います。皆さん一人一人がアーティストです。臆せず果敢に挑戦しましょう。	遅刻、無断欠席、授業開始後の無断入退室は禁止です。実技を伴う学修内容においては、事前に必要な材料や道具をお知らせします。しっかり準備して忘れ物をする事無く授業に臨んでください。また、返却された作品、レポート等は廃棄することなく、画像やファイルにまとめて保管し、今後に役立ててください。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	0	①				
			②				
			③				
			④				
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
				④			
		レポート	40	①	✓		(獲得) 現代にいたる様々な美術表現手法が獲得できる。(30%) (活用) 演習や作品制作での体験を活かして、子どもたちにどのような資質・能力を育むべきかの考察ができる。(60%) (解決) 表現手法の特性を多角的に分析することができる。(10%)
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
		成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等)	50	①	✓		(獲得) 現代にいたる様々な美術表現手法が獲得できる。(20%) (活用) 既存の表現手法を基盤として、新感覚、新発想の表現を導き出すことができる。(40%) (解決) 指導者としての技術と感性、造形的思考力を磨くことができる。(40%)
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
学修行動	社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性) 演習や作品制作に積極的に取り組むことができる。 (働きかけ力) 新たな表現に果敢に挑戦できる。 (実行力) 最後まで諦めず、丁寧に作品を仕上げるができる。 (課題発見力) 制作において、分からないことは質問できる。 (計画力) 時間内に完成させるための時間配分や、工程、使用材料等を計画できる。 (創造力・柔軟性) オリジナリティーを大切にしながらも、さらに新しい表現を創出することができる。 (発信力) 自分の意思をはっきり伝えることができる。 (傾聴力) 教員や友人のアドバイスに謙虚に耳を傾けることができる。 (状況把握力) 困っている人がいれば手助けができる。 (規律性) 提出期限を守り、制作後の道具の返却、教室の清掃ができる。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
レポート、作品等をすべて提出し、これらの完成度が高く、出席状況が良いことがA(優)評価とする。これを上回る場合はS(秀)評価とする。	レポート、作品が提出されており、これらが不足なく水準を超えて完成されていて、出席状況が良好なものがB(良)評価となる。 レポート、作品が不足なく完成されていて、出席状況が良好なものがC(可)評価となる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	<オリエンテーション> 授業の目的や授業内容、レポート、評価等について知り、学習の見通しを持つ。 <造形表現の発達段階(描画活動)> ・造形表現の発達段階(描画活動)について学修する。	講義 振り返りレポートのフィードバック	造形表現の発達段階(描画活動)を理解できる。 (振り返りレポートの提出)	(予習) 0～9歳(小学校中学年)くらいまでの幼児、児童画を調べ、自分なりの見解をまとめておく。 (復習) 振り返りレポートを完成させる。 (次週に提出)	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 規律性
2	<造形表現の発達段階(つくる活動)> ・造形表現の発達段階(つくる活動)について学修する。	講義 振り返りレポートのフィードバック	造形表現の発達段階(つくる活動)を理解できる。 (振り返りレポートの提出)	(予習) 0～9歳(小学校中学年)くらいまでの幼児、児童作品を調べ、自分なりの見解をまとめておく。 (復習) 振り返りレポートを完成させる。 (次週に提出)	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 規律性
3	<立体表現の理解(鉛筆デッサン)> ・立体の基本的な表現方法を学修する。	講義 演習 作品制作	モノトーンによる基本的な立体表現ができる。 (作品提出)	(予習) デッサンの概念を調べておく。 (復習) 作品を完成させる。(次週に提出)	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
4	<墨に親しむ>① ・水墨画の様々な技法を体験する。 ・水墨画の技法を使って作品を制作する。	講義 作品制作	水墨画の技法を使って作品を制作できる。	(予習) 三墨法等の水墨画の主な表現技法について調べておく。 (復習) 体験した水墨画の技法を反復練習する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
5	<墨に親しむ>② ・水墨画の作品を掛け軸に仕立てる。	講義 作品制作	水墨画の作品を掛け軸に仕立てることができる。 (作品の提出)	(予習) 掛け軸の構造について調べておく。 (復習) 作品を完成させる。(次週に提出)	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
6	<凸版画①>版づくり ・紙や身近にある素材、廃材を使って版をつくる。	講義 作品制作	紙や身近にある素材、廃材を使って版をつくることができる。	(予習) 版画の種類や手法の違いを調べておく。使えそうな素材や廃材を想定し準備しておく。 (復習) 今日の制作を振り返り、学校現場での指導に繋げる方法を探る。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
7	<凸版画②>摺りを楽しむ ・摺りを楽しみながら、ローラーやバレンの使い方、インク量の調節等の技術を習得する。	講義 作品制作	ローラーやバレンの使い方を理解し、インク量の調節等に配慮しながら制作している。 (作品の提出)	(予習) ローラーやバレンの使い方について調べておく。 (復習) 今日の制作を振り返り、学校現場での指導に繋げる方法を探る。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
8	<素材の特性を活かした立体研究> ・針金アートを自由な発想で制作する	講義 作品制作	素材の特性を理解し、それを活かした作品が制作できる。 (作品の提出)	(予習) 針金アートについて調べ、自分なりの見解をまとめておく。 (復習) 今日の制作を振り返り、学校現場での指導に繋げる方法を探る。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	<フォトモンタージュ> ・雑誌、広告、新聞等の写真を使って非現実的世界を面白く表現する。	講義 作品制作	雑誌、広告、新聞等の写真を使って非現実的世界が面白く表現できる。 (作品の提出)	(予習) シュルレアリスムの画家の作品を調べ、作品に対する自分なりの見解をまとめておく。雑誌、広告、新聞等の切り抜き写真をたくさん集めておく。 (復習) 今日の制作を振り返り、学校現場での指導に繋げる方法を探る。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
10	<アクションペインティング> ・体全体を使った絵具による表現を体験する。	講義 演習 振り返りレポートを作成	アクションペインティングに興味を持ち、積極的に体験できている。 (振り返りレポートの提出)	(予習) ジャクソンポロックや白髪一雄の作品について調べ、作品に対する自分なりの見解をまとめておく。 (復習) 今日の制作を振り返り、学校現場での指導に繋げる方法を探る。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
11	<障害者理解> ・「手」以外を使って絵を描く。	演習 振り返りレポートのフィードバック	手以外で描くことを体験し、表現者としての身体障害者を理解することができる。 (振り返りレポートの提出)	(予習) インターネット等で身体障害者画家活躍している人を調べ、制作の様子や作品を見ておく。 (復習) 今日の制作を振り返り、学校現場での指導に繋げる方法を探る。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
12	<オブジェ研究①> ・グループで一つの大きなテーマを決め、各自がそのテーマから受けるイメージを自由に作品として制作する。 <インスタレーション研究> ・インスタレーション表現について学修する。	講義 作品制作 グループワーク	グループで決めたテーマから受けるイメージを作品にしている。	(予習) オブジェの概念について調べ、インターネット等で国内外のアーティストの作品を見ておく。 (復習) 制作の進捗状況を確認する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
13	<オブジェ研究②> ・前回からの制作を継続する。	作品制作 グループワーク	グループで決めたテーマから受けるイメージを作品にしている。	(予習) 作品の質を高めるための方策を検討する。 (復習) 制作の進捗状況を確認する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
14	<オブジェ研究③> ・オブジェを完成させる。	作品制作 グループワーク ディスカッション	グループで決めたテーマから受けるイメージを作品として完成させている。	(予習) 作品の質を高めるための方策を検討する。 (復習) テーマに沿った作品に仕上がったか、グループでディスカッションする。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
15	<空間演出研究> ・制作したオブジェを使って空間を演出し、画像作品として制作する。	演習 グループワーク 振り返りレポートの作成。	協働作業の中で自分の役割を果たせている。 (作品画像をgoogle classroomに提出) (振り返りレポートの提出)	(予習) 撮影場所、演出方法をグループで話し合っておく。実際にデパート等のショーインドールを見ておく。 (復習) 今日の制作を振り返り、学校現場での指導に繋げる方法を探る。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力